

# ナブテスコ通信



アンケートのご協力をお願いします

抽選で**300名**に当社ノベルティをプレゼント

株主の皆さまのご意見を伺い、今後のIR・SR活動をさらに充実させたいと考えております。つきましては、株主の皆さまにアンケートをお願いさせていただきます。

ご回答くださいました方の中から抽選で300名様に当社ノベルティ（ボールペン）をプレゼントいたします。

締め切りは2019年5月10日(当日消印有効)です。

※発送は、7月上旬以降を予定しております。



ハガキアンケート  
サイトからご回答  
いただけます。



<https://smartweb1.eventissimo.jp/>

# 中長期的な競争基盤を強化し、 持続的成長を実現してまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
ここに、中期経営計画に基づく成長戦略の進捗をご説明させていただきます。

## 売上高は過去最高を更新したものの、 減損損失を計上し、減益となりました。

2018年度の連結業績は、すべての事業セグメントで増収となり、2017年度に引続き売上高の過去最高を更新しましたが、利益面では、海外連結子会社に係るのれんの減損損失を計上したことなどにより、減益となりました。

## 中期経営計画における経営戦略は、 これまでの2年間で着実に進展し、 成果を上げてきました。

中期経営計画の進捗について、2018年度の主な取り組みを紹介いたします。

「Market Creation」では、欧州において地域統括会社を設立し、現地子会社へのリソース配分の最適化

や経営効率の向上を図るなど、欧州市場展開の拡大に向けて体制を整えました。また、中国では、精密減速機および油圧機器の現地生産体制を強化し、中国内の需要急増に対応しています。

また、「Technology Innovation」では、2018年度に精密減速機と自動ドアの次世代製品を上市し、航空機器では新機種向けFCA\*の出荷が増加するなど、売上高に占める新製品の割合を年々高めています。技術開発の面では、油圧機器や包装機においても新技術の開発を進めています。また、2018年度は、ベンチャー企業とのシナジーを求めて投資を行うための会社

(CVC\*)を設立し、起業への投資を通じて、先進技術を共創していく取り組みを開始しました。

さらに、「Operational Excellence」では、全社横串となる生産改革や在庫オペレーションの改善などの施策を遂行しています。働き方改革への取り組みでは、2017年度に設置した業務改革推進室を中心に、業務の棚卸しや分析を行い、サテライトオフィスの活用や在宅勤務制度を導入しました。

\*FCA…フライト・コントロール・アクチュエーションシステムの略  
\*CVC…コーポレート・ベンチャーキャピタルの略

## 中期経営計画 (2017年度～2020年度)

### Market Creation

新事業の創出

### Technology Innovation

新たなソリューションの創造

### Operational Excellence

持続的な収益性・効率性の  
向上による企業価値向上

## コミットメント

2020年度までに  
ROE15%を達成し、維持します。

本中期経営計画期間中の  
連結配当性向を35%以上とします。

ESG課題の解決に注力します。

代表取締役社長 寺本克弘

**コミットメントの実現により  
資本効率を高め、社会に求められる  
企業として未来を拓きます。**

「ROE15%達成」については、2018年度の実績において12.1%に低下しました。2019年度は12.3%を計画していますが、今後の利益拡大によって引き上げを図り、2020年度において15%達成を目指してまいります。

「連結配当性向35%以上」については、引き続き35%以上を維持してまいります。

「ESG課題の解決に注力」については、コーポレート・ガバナンス基本方針改定や、企業市民活動方針制定等に取り組んでまいりました。また、気候変動関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言をもとに、気候変動がもたらすリスクと機会の財務的影響を把握・開示するため、対応チームを設立しました。



**成長分野への積極的な投資を  
行ってまいりました。**

2018年度は、成長分野である航空機器および精密減速機の生産増強を中心に、203億円の設備投資を実施しました。過去2年間で350億円を超える設備投資額となっています。

航空機器の生産を行う岐阜工場では、FCAの一貫生産体制構築を進めており、精密部品棟と表面処理棟に続いてアクチュエーター棟を完成させました。また、精密減速機の生産を行う津工場（三重県）と中国の納博特斯克（中国）精密机器有限公司では、近年の需要拡大を受け、両工場の高稼働が続いていましたが、今回の設備投資による生産力増強により、生産過負荷状況の軽減を果たすことを見込んでいます。

当社グループは、健全なバランスシートを維持しつつ、成長分野への積極的な設備投資を継続してまいります。



岐阜工場 全景



**2020年の飛躍に向けた基盤を  
築き上げます。**

2019年度の連結業績は、売上高3,130億円（当期比6.2%増）、営業利益300億円（同37.1%増）と増収・増益を予想しています。

その展望を述べますと、コンポーネントソリューション事業は、精密減速機が2018年度並みとなる見通しですが、油圧機器が中国、東南アジアおよび北米の各市場における堅調な建設機械需要を受けて売上を伸ばし、利益が拡大すると見込んでいます。

トランスポートソリューション事業は、中国高速鉄道向けの減少による鉄道車両用機器の減収を想定していますが、航空機器、商用車用機器、船用機器では、いずれも増収となる見通しであり、また、2018年度の減損影響がなくなるため、利益が大きく回復すると見込んでいます。

アクセシビリティソリューション事業は、プラットフォームドアおよび国内建物用自動ドアが堅調に売上を伸ばす見通しであり、2018年度に発生した一時的な費用が発生しないことから、増益を見込んでいます。

2019年度は、4年間の中期経営計画を折り返して後半に入り、2020年度の中期経営計画達成のために、準備を整える重要な1年となります。さらなる飛躍に向けた基盤を築き上げ、2020年度は、その成果を確実に刈り取ってまいります。

**株主の皆さまの期待に応える  
魅力ある企業を目指して。**

今回の期末配当は、減益ながら株主の皆さまへの利益還元を安定的に実施していく方針を優先し、期末配当を1株当たり37円（年間配当額73円）とさせていただきます。2019年度は、年間配当額73円（中間36円・期末37円）を予定しています。

当社グループは、中期経営計画の着実な遂行により持続的成長を実現するとともに、社会への貢献を果たし、株主の皆さまをはじめ、すべてのステークホルダーの期待にお応えしてまいります。株主の皆さまにとって、魅力ある企業として成長してまいりますので、これからも末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループ決算情報

	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期 (計画)
売上高	2,824億円	2,946億円	3,130億円
営業利益	295億円	219億円	300億円
親会社の所有者に 帰属する当期利益	251億円	210億円	229億円
年間配当額	72円	73円	73円
ROE*	15.9%	12.1%	12.3%

\*ROE…親会社所有者帰属持分当期利益率の略

# 歩行者用自動ドア JIS制定プロジェクト

2017年3月、歩行者用自動ドアの安全性に関する規格「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット—安全性」が制定されました。これは日本で初めてとなる、引き戸、開き戸、回転ドアなど、ほぼすべての種類の自動ドアを包括する安全規格です。その原案作成から制定までのプロセスを支えたのが、当社住環境カンパニーの社員です。業界団体である全国自動ドア協会内での作業部会および原案作成委員会の一員として、土台となる草案作成や、内容の練り直しなどの実務を担い、議論のスムーズな進行を一貫して推進しました。



これまで歩行者用自動ドアは、一般に広く普及しているにもかかわらず、安全性に関する統一された基準が存在しないという課題がありました。「JIS A 4722」の制定により、今後は自動ドアの安全性に関する社会的な意識の向上や、製品の品質向上など、業界全体への大きな貢献が期待できます。

## JIS A 4722

### 体の不自由な方・高齢者・子どもにも安全・安心な、自動ドアの新基準

#### 国際規格に整合!

規格には国際規格ISO/IEC、欧州規格ENなどがあり、グローバルに製品を展開する上ではそれらの規格との整合性が必要となります。「JIS A 4722」でも、ISO12100、EN16005などとの整合性が考慮されています。

#### 「ほぼすべての種類の自動ドア」「設計から保守まで」をカバー!

**適用される自動ドアの種類**……引き戸、開き戸、回転ドアなど、電気で駆動する歩行者用自動ドアに適用されます。(ただし、特殊な付加機能が優先される自動ドアは適用外になります。)

**適用される工程**……設計時、施工時、保守時など、それぞれのタイミングで守るべき事項が規定されています。これによって、「製品自体は安全性が高いのに設置現場によっては危険が生じる」といった問題が発生しません。

#### 「JIS」って、ナンドスコ?

Japanese Industrial Standards(日本工業規格)の略で、推奨される仕様などが定められた日本の国家規格であり、2018年3月末現在の制定数は10,667規格となります。

JISには、法規から引用されているものと、法規から引用されていないものの二種類があります。「JIS A 4722」は後者のため、国家規格であるJISとして制定されることで、社会的規範や指針となる効果が期待できます。

## 「NATRUS+e」 ムダ開きを減らし、快適な室内環境をお届けする自動ドア

『NATRUS+e』は、NATRUS<sup>®</sup>の3つの特長(安全性の追求・利用環境に合わせた多彩な設定機能・ロングライフ設計で低ランニングコストを実現)に加え、室内環境改善・バリアフリー・省エネルギーを同時に実現する自動ドアです。

一般の自動ドアは、ドアの近くを人が横切るだけで開閉したり、ドアの近くに人がいると開いたままになってしまうことがあります。『NATRUS+e』は人の動きを読み取り、ドアを通る人には開き、通らない人には開かないので、ムダ開きや不要開放時間を減らすことができます。



※NATRUSは、当社グループが開発した「JIS A 4722」対応製品です。

### NATRUS+eの特長

NATRUS+eのくわしい情報

→ [https://nabco.nabtesco.com/nabco-select/natrus\\_e/](https://nabco.nabtesco.com/nabco-select/natrus_e/)



#### 室内環境改善

人が横切るたびにドアが開いてしまう



ドアに向かう時だけ開くのでムダ開きを減らします

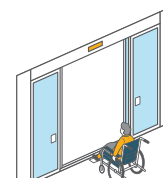


#### バリアフリー

タッチ式自動ドアは操作が大変



タッチ操作が不要で「バリアフリー」を実現します



#### 省エネルギー

ドアが開いたままで空調が効かない



不要開放時間を減らします



バリアフリー整備ガイドライン(国土交通省発行)では、開閉操作を不要なものとするを求めています。

## TOPIC① 2018年8月 新型減速機『RV-Z(ゼータ) シリーズ』発売

当社は、産業用ロボットなどに搭載される精密減速機RVの最新モデルとして、『RV-Z シリーズ』を発売いたしました。累計800万台以上の実績を有する精密減速機RVに最新の要素研究成果を取り入れることで、『RV-Z シリーズ』は性能を大幅に向上することができました。

今後も、産業用ロボットを従来と比べて「より高精度に」、「より軽量・コンパクトに」といったお客様のニーズに応えてまいります。



RV-Z シリーズ

## TOPIC② 2018年10月 欧州に包装機の現地法人を設立

当社グループで包装機事業を手掛ける東洋自動機株式会社は、欧州市場での販売促進および技術サポート・サービス体制拡充のため、現地法人「TOYO JIDOKI EUROPE GmbH」をドイツに設立しました。

## TOPIC③ 2018年12月 自動ドアの動きに合わせて、映像を投影するソリューション「コネクトドア™」を共同開発

当社は、凸版印刷株式会社と、スライド式自動ドアの動きに合わせて、変化する映像投影ソリューション「コネクトドア™」を共同開発しました。

自動ドアの開閉に合わせて投影する映像や音声を切り替えることで、エントランス空間を静的な空間から動的な空間に変化させ、エンターテイメント空間や広告スペースに活用することが可能となります。



コネクトドア™

ウェブサイトのご案内  
<https://www.nabtesco.com>

当社Webサイトでは、当社に関するさまざまな情報を発信しています。

ナブテスコ

検索



Youtube公式チャンネルのご案内  
**NabtescoPromotion**

TVCMや会社案内などを映像でもご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/user/NabtescoPromotion>



# ナブテスコ 株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号  
TEL:03-5213-1133 FAX:03-5213-1171

UD  
FONT

